

3 事務事業総点検運動等の取り組み状況

(1) 「事務事業総点検運動」と「公共施設総点検運動」の推進

市では、市税収入の顕著な回復が見込めない中、平成 22 年 7 月に「事務事業総点検運動推進本部」を設置し、平成 23 年度事業の緊急見直しや平成 23、24 年度の予算編成に向けて、コストの徹底的な検証・削減や、大胆な事業見直し等を進めてきました。平成 25 年度予算編成においても、厳しい財政状況にあったことから、事務事業総点検運動を集中的に展開し、施策の重点化と行政のスリム化に取り組みました。とくに、細かな配慮と創意工夫によって、経費をかけずに事業の成果や市民満足度を高める取り組みを「ゼロアップ創造予算」として積極的に推進することとしています。

事務事業総点検運動では、一定の市の単独施策を中心に、国・東京都の制度との整合性や、事業開始から現在までの状況の変化などを踏まえながら、丁寧な検討を行い、さまざまな観点から廃止、縮減等の見直しを図っています。

また、平成 23 年度から本格的に開始した「公共施設総点検運動」では、施設管理業務の点検を行い、委託仕様の適正化に向けて取り組んでいます（※詳細は、34 ページ第 I 章「4 公共施設総点検運動の取り組み」参照）。

(2) 事務事業総点検運動等による主な事業見直し等一覧

平成 24 年度に実施した事務事業総点検運動等では、125 件の事業見直しにより約 2 億 4 千万円の削減を図りました。ここでは、主な削減事例 40 件を掲載します。

なお、平成 24 年度は、23 年度の事務事業総点検運動で見直しを保留した事業の再検討、各部門からの新たな事業見直し提案の検討に加え、使用料・手数料等全般の検証を行いました。

* 公共施設総点検運動・ゼロアップ創造予算に該当するものは、その旨を記載しています。

No	所属	件 名	平成 25 年度予算における見直し検討			
			平成 25 年度 予算(千円)	平成 24 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
1	企画部	行政評価関係費 (経営品質協議会 等負担金)	経営品質協議会について、行政経営品質評価などを踏まえ退会するとし、負担金を廃止するとともに認定アセッサの登録及び更新を止め、経費の削減を図る。			
			0	683	△683	皆減
2	企画部	非核・平和事業費 【ゼロアップ創造 予算】	平成 24 年度に引き続き、「東京空襲資料展」を東京都と共同開催することで、市費の負担なしで展示内容の充実を図る。			
			0	369	△369	皆減
3	企画部	男女平等推進関係費 【ゼロアップ創造 予算】	女性問題懇談会の発展的解散に伴い、同会への補助金を廃止する一方で、より幅広い市民の参画による「ワーク・ライフ・バランスのための民学産公協働講座(仮称)」を開催することで男女平等の啓発活動の充実を図る。			
			240	750	△510	△68.0%
4	企画部	国際交流協会運営費 【ゼロアップ創造 予算】	国際交流協会の車両について、運行実態を勘案してカーシェアリングの活用に変換する。現有車両は市へ返還することとし、市ではこれを共用車両として活用する。			
			240	378	△138	△36.5%

No	所属	件 名	平成 25 年度予算における見直し検討			
			平成 25 年度 予算(千円)	平成 24 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
5	企画部	三鷹の森科学文化祭関係費 【ゼロアップ創造 予算】	同時期に開催されるスポーツ祭東京 2013 や外郭団体のイベントと連携しながら、効率的な広報やそれぞれの資源の有効活用などによって、さらなる集客力の向上を図る。			
			1,150	1,150	0	0.0%
6	企画部	地域情報化推進 関係費 (情報セキュリティ マネジメントシステム 支援業務委託 料等)	ISMS認証の継続審査回数を年2回から1回に見直すとともに、運用支援業務委託の仕様見直しにより、経費の削減を図る。			
			3,894	6,179	△2,285	△37.0%
7	総務部	職員健康診断関係費 【ゼロアップ創造 予算】	VDT健診及び腰痛健診について、委託を廃止し、定期健康診断項目に近見検査(50cm 視力)を追加するとともに、産業医を含む産業保健スタッフが所見を判定することで、経費の削減を図る。			
			13	2,708	△2,695	△99.5%
8	総務部	総合オンブズマン 関係費(総合オン ブズマン報酬)	三鷹市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償条例の改正により、総合オンブズマンの報酬を見直す。 報酬月額 206,000 円→128,000 円			
			3,072	4,944	△1,872	△37.9%
9	総務部	市民センター管理 運営費(電気料)	これまで一般電気事業者(東京電力)から調達していた電力の需給契約について、入札により特定規模電気事業者(PPS)との契約に見直すことにより、従来の電気料金の縮減を図る。			
			*1 65,880	66,921	△1,041	△1.6%
10	市民部	軽自動車税賦課 関係費(諸印刷 費)	標識交付申請書及び廃車申告書を庁内印刷にすることで経費の削減を図る。			
			13	51	△38	△74.5%
11	市民部	証明書交付等事務費(機器保守委託料)	呼出番号表示装置等の保守回数を見直すことにより経費の削減を図る。 ・呼出番号表示装置保守 4回→3回 ・レジスターボタン保守 2回→1回			
			349	481	△132	△27.4%
12	生活環境部	コミュニティ・センター管理関係費 【公共施設総点検 運動】	平成 23 年度に実施した公共施設総点検運動に引き続き、施設管理業務(清掃・設備保守)に係る回数・単価等の見直しにより、コミュニティ・センター管理に係る経費の削減を図る。			
			112,913	114,948	△2,035	△1.8%
13	生活環境部	住民協議会活動 支援事業費 【ゼロアップ創造 予算】	既存の住民協議会活動助成費の一部を財源とし、住民協議会からの新たなコミュニティ創生に向けた取り組みの提案に対し、一定の選定基準に基づき助成する「住民協議会活性化事業支援助成金(仮称)」を創設する。			
			*2 300	300	0	0.0%

*1 平成 24 年度予算欄は、東電単価で試算した平成 25 年度の推計値

*2 平成 25 年度予算は既存助成費を組み替えており、平成 24 年度は同額を記載

No	所属	件 名	平成 25 年度予算における見直し検討			
			平成 25 年度 予算(千円)	平成 24 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
14	生活環境部	みたか・子どもと絵本プロジェクト関係費 【ゼロ・アップ創造予算】	(財)地域活性化センターの助成金(10/10 補助)を活用して「まるごと絵本市(仮称)」を開催し、参加する子どもたちと地域のおとなたちとのふれあいやコミュニケーションの推進と地域活性化を図る(平成 25 年度歳出予算 1,000 千円)。			
			*3 0	50	△50	皆減
15	生活環境部	環境調査・測定関係費 【ゼロ・アップ創造予算】	正職員への「空間放射線量測定者講習会」の成果を踏まえ、従来の専門職員による測定から正職員による測定へと手法を転換しつつ、市民の安全・安心な生活の確保を図る。			
			26	1,413	△1,387	△98.2%
16	生活環境部	ISO14001運用事業費(運用等支援業務委託料)	運用支援や認証審査に係る委託内容の見直し、研修方法を講座方式からファイルサーバー研修方式に変更し、業者の訪問回数を減らすことで経費の削減を図る。			
			977	1,286	△309	△24.0%
17	生活環境部	粗大ごみ収集関係費 【ゼロ・アップ創造予算】	新たに 1,500 円の粗大ごみ処理券を発行することにより、財政負担を軽減しながら市民の利便性の向上を図る。			
			*4 25,689	26,116	△427	△1.6%
18	生活環境部	労働行政事務関係費(メーデー補助金)	連合及び全労連へのメーデー補助金を廃止する。			
			0	120	△120	皆減
19	生活環境部	勤労者等生活資金融資事業費(貸付預託金)	中央労働金庫に預託している貸付預託金を平成 25 年度から廃止する。			
			0	3,000	△3,000	皆減
20	健康福祉部	障がい自立支援補装具支給事業費(補装具自己負担部軽減費)	障害者自立支援法(平成 25 年4月から障害者総合支援法、以下同様)に基づく補装具の支給事業について、課税世帯(市民税所得割 46 万円未満)に対し、自己負担分1割の 1/2 額を助成しているが、平成 24 年度に障害者自立支援法等が一部改正され、新たな上限設定が行われたことから、補助を廃止する。			
			0	708	△708	皆減
21	健康福祉部	障がい者医療的ケア事業費 【ゼロ・アップ創造予算】	北野ハピネスセンターの生活介護(成人部門)事業において、身体に重度の障がいがあり、医療的ケアが常時必要な方の受け入れを行う。実施に当たっては、既配置の看護師が医師の指示を受けて対応し、サービスの拡充を図る。			
			*5 80	80	0	0.0%
22	健康福祉部	敬老金贈呈事業費	敬老と長寿を祝い贈呈している敬老金について、長寿化により平均寿命が延びていることから、対象を 99 歳以上とする。			
			1,618	14,393	△12,775	△88.8%

*3 平成 25 年度予算は特定財源 1,000 千円を控除した額を記載

*4 特定財源を控除した一般財源を記載

*5 平成 24 年度予算は事項組替前の「障がい自立支援生活介護事業費」の一部に記載

No	所属	件 名	平成 25 年度予算における見直し検討			
			平成 25 年度 予算(千円)	平成 24 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
23	健康福祉部	高齢者入院見舞金支給事業費	介護保険制度の創設による社会的入院の減少、昨今の他市の状況を勘案し、事業を廃止する。			
			960	5,427	△4,467	△82.3%
24	健康福祉部	高齢者生活支援ヘルパー事業費	本事業は、介護保険制度のスタートに伴い、適正な介護サービスに移行していくことを目的として、介護認定において非該当になった高齢者を対象に、日常生活に必要な支援を行っていた。しかし、近年の傾向では、介護保険制度の開始当初と比較し、非該当になる高齢者は自立していることが多く、その結果利用者が少なくなっていることから、事業を廃止する。			
			0	1,869	△1,869	皆減
25	健康福祉部	地域包括支援センター運営費	地域包括支援センターの運営について、要支援認定者数の増などにより、指定介護予防支援事業所としてのケアプラン収入が増加することが見込まれるため、委託料を見直して減額する。			
			181,207	184,497	△3,290	△1.8%
26	子ども政策部	公設公営保育園運営事業費【ゼロ・アップ創造予算】	地位的な保育需要を勘案しながら、子育て世代のワーク・ライフ・バランスの実現を推進するため、上連雀保育園、中原保育園の0歳児クラスを廃止し、職員配置の効率化を図りながら1、2歳児の定員増を行う。			
			*6 3,617	9,543	△5,926	△62.1%
27	子ども政策部	家庭的保育園営事業費【ゼロ・アップ創造予算】	国の補助要件を満たすよう、平成 24 年度中に家庭的保育者が基礎研修等を受講することで、保育の質を向上させるとともに、関連参入の増額を図る。			
			*7 16,402	23,055	△6,653	△28.9%
28	子ども政策部	西児童館子どもクラブ事業費【ゼロ・アップ創造予算】	西児童館で実施しているダンスクラブ事業について、講師を有償から無償ボランティアにすることで、経費削減をしながら事業を継続する。			
			0	385	△385	皆減
29	都市整備部	私道整備事業費	L型側溝の新規整備を廃止し、舗装工事のみの整備とすることで、整備延長は維持しつつ、経費の削減を図る。			
			14,793	16,000	△1,207	△7.5%
30	都市整備部	狭あい道路等拡幅整備事業費(物件補償費)	狭あい道路拡幅に伴う物件補償費に上限(原則1件につき1,050千円まで)を設けることで、経費の減額を図りながらも、拡幅整備の対応件数を確保する。			
			*8 12,600	14,175	△1,575	△11.1%
31	都市整備部	違法駐車対策事業関係費(市政嘱託員報酬1人、市政嘱託員共済費)	三鷹駅南口の違法駐車対策については、平成 21 年4月から駐車監視員(民間委託)による放置車両確認事務が始まったことから、平成 23 年度より、3人から2人に減員し取り組んでいる。平成 23 年度末で5年経過した嘱託員について、雇用期間を1年間延長し、平成 24 年度は2人体制としていたが、平成 25 年度は1人、平成 26 年度で市政嘱託員の配置を見直す。			
			3,180	9,540	△6,360	△66.7%

*6 平成 25 年度予算額は定員増影響額、平成 24 年度予算は職員効率化影響額を記載

*7 予算額には補助金を控除した一般財源を記載

*8 平成 24 年度予算は上限を設けない場合の推計値

No	所属	件 名	平成 25 年度予算における見直し検討			
			平成 25 年度 予算(千円)	平成 24 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
32	都市整備部	緑化助成事業費	制度のPR等により事業所の取り組みを促進しつつ、事業所緑化助成と接道部緑化造成等助成制度を一体化し、経費の削減を図る。			
			4,020	5,550	△1,530	△27.6%
33	都市整備部	東部水再生センター運営管理費 【公共施設総点検運動】	東部水再生センターの清掃業務について、仕様の見直しにより経費の削減を図る。			
			669	843	△174	△20.6%
34	教育部	小・中一貫教育校関係費(英語教育外国人指導者派遣手数料、外国語(英語)活動支援業務委託料)	外国語指導者(ALT)派遣事業について、日額単価の見直しに取り組むなどして、さらなる経費の削減を図る。			
			44,494	47,776	△3,282	△6.9%
35	教育部	総合教育相談室事業費 (スクールカウンセラー報酬・共済費)	都費スクールカウンセラーが小学校全校に配置(週1日)されるため、市費スクールカウンセラーがスクールソーシャルワーカーの機能を担う(2人分)ことで都補助金を見込む。			
			*9 9,604	22,510	△12,906	△57.3%
36	教育部	学校運営支援等の推進事業費 【ゼロ・アップ創造予算】	コミュニティ・スクールを効率的で持続可能なシステムとするため、国の委託を受け、一般財源の負担なしで具体策の検討を行う。			
			*10 1,000	1,000	0	0.0%
37	教育部	小学校費・自然教室等関係費(インストラクター指導委託料、解説業務委託料、施設使用料)	自然教室3泊4日のうち、3日間配置していたインストラクターを1日に短縮し、星空解説も見直しを行う。			
			5,477	8,284	△2,807	△33.9%
38	教育部	学校体育施設開放事業費(プール総合管理委託料、プール自動券売機使用料)	隣接する環境センターの余熱を活用することにより運営を行ってきた第五中学校プールの市民開放を、同センターの炉が停止されることに伴い終了する。			
			0	12,594	△12,594	皆減
39	総務部 教育部	市民センター管理運営費、教育センター管理運営費、図書館管理運営費 【公共施設総点検運動】	市民センター周辺施設の一括管理及び施設管理業務(清掃・設備保守・警備等)の仕様見直しにより、経費の削減を図る。			
			150,029	161,198	△11,169	△6.9%

*9 平成 25 年度予算は都補助金を控除した一般財源を記載

*10 平成 24 年度予算は補正後の金額を記載

No	所属	件 名	平成 25 年度予算における見直し検討			
			平成 25 年度 予算(千円)	平成 24 年度 予算(千円)	増減額(千円)	増減率(%)
40	農業委員会事務局	農業委員会事務関係費 【ゼロ・アップ創造予算】	農家の四季コンテストで入賞した市内農地等の風景写真について、従来の農業祭における展示に加え、市民センター1階ホールでの展示を行い、農地保全に関する市民への啓発を推進する。			
			198	300	△102	△34.0%

(3) 事務事業総点検運動等に基づく事業見直し等による財源効果

No.	所属	件数	財源効果(予算比較) 単位:千円		
			25 年度	24 年度	増減額
1	企画部	19	18,558	26,053	△7,495
2	総務部	10	2,662,245	2,761,484	△99,239
3	市民部	4	377	805	△428
4	生活環境部	20	187,280	198,101	△10,821
5	健康福祉部	33	246,454	296,386	△49,932
6	子ども政策部	3	20,019	32,983	△12,964
7	都市整備部	16	79,266	93,128	△13,862
8	教育部	18	112,983	153,723	△40,740
9	行政委員会その他複数の部にまたがるもの	2	150,227	161,498	△11,271
合計		125	3,477,409	3,724,161	△246,752

*このほか、各部の予算見積りの段階で、269,334 千円の経常経費の削減を図りました。

(4) 新たな行政評価手法の試行・検討に向けて

市では、事業や施策を客観的に評価・検証を行うための手段のひとつとして導入した行政評価の取り組みが 10 年を経過することから、平成 24 年度に庁内プロジェクト・チーム「持続可能な行政サービスのあり方に関する検討チーム」を設置し、行政評価そのものについて検証を行い、再構築に向けた検討を進めました。

「持続可能な行政サービス」を実現するためには、「財政の健全性」と「きめ細かなサービスの提供」を両立しなくてはなりません。そのため、市では、市民満足度の向上を前提とした事業の適正化を図るため、事業の「対象者（属性）」と「サービス形態」に着目し、事業特性に応じた振り返りを行い、すべての事務事業を定期的に検証する仕組みを構築し、平成 25 年度から試行することとしました。

新たな行政評価手法では、「本来行政が提供すべきサービスであるか」「適正なコストで市民に満足のいく質の高いサービスを提供しているか」「市民間の公平性が担保されているか」「経費と成果のバランスは適正であるか」などの視点から「自己点検」を行い、事業改革に取り組

みます。これにより、「誰のために（対象）」「どのような状態になることを目指して（意図）」事業を実施する必要があるのか、市民の視点に立って事業の必要性や意義を検証するとともに、予算編成との一層の連携により事務の効率化を図りながら、より良い事業実施に向けた改革を進めます。

○新たな行政評価の取り組み

1 対話による創造的事業改革手法の構築

（1）目的

将来の人口構成や財政状況がますます厳しくなる低成長時代において、第4次基本計画・行財政改革アクションプラン 2022 の策定、事業評価制度・事務事業総点検運動の取り組みを踏まえ、「対話による創造的事業改革手法」を試行して事業改善提案による事業見直しを実施します。

この手法は、事業を実施する所管部と企画部・総務部との対話により、市民満足度の向上を前提とした持続可能な行政サービスのあり方を検討するもので、すべての事務事業を経常的に見直すことが可能となる仕組みの構築につなげるものです。

（2）基本的な考え方

- ◇ 事業の「意図」と「対象」を明確にした必要性や意義の検証
- ◇ 事業評価制度、予算編成との有機的な連携による事務の効率化

2 これまでの取り組みからの主な変更点

（1）事業評価制度における評価手法の変更

評価対象事業を「各部の運営方針と目標」掲載事業とします。あわせて事業評価表の様式を改訂することで、事業の目標や実施計画等を記載し一事業当たりの作業負担の軽減を図ります。

（2）事業基礎シート（STEP 0）の作成

全事業について STEP 0 を作成し、事業概要を整理することにより、事業を可視化します。

事業評価表の改訂と連動し、評価対象事業の基礎情報として活用します。

（3）セルフチェックシート（STEP 1）による自己点検

セルフチェックシートに基づく所管部による自主点検を行います。

（4）改善提案書（STEP 2）による事業改善の検討

STEP 0 及び STEP 1 の結果を基に抽出された事業について、所管部と企画部・総務部との対話により改善の方向性を検討します。

3 検討結果及び実施方法

（1）検討結果の反映及び公表

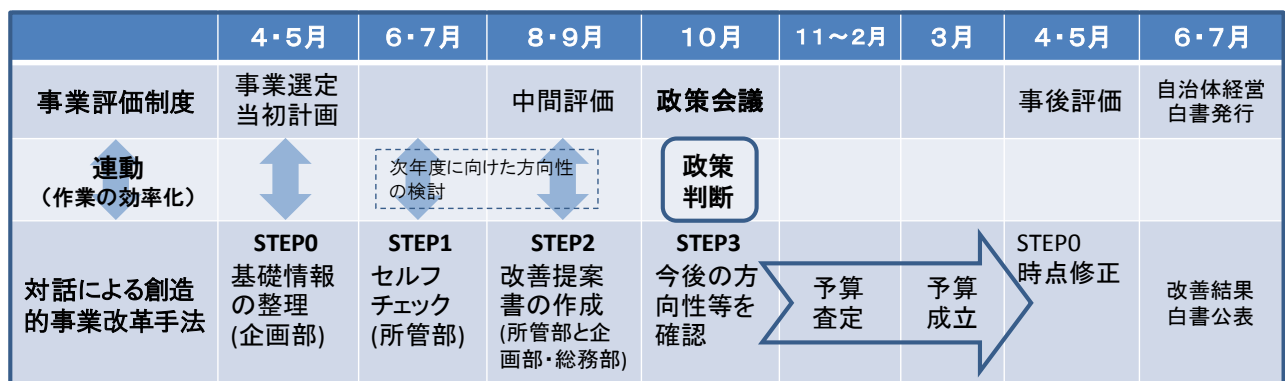
改善提案書（STEP 2）については、政策会議を中心に実施の確認を行い、次年度予算編成に反映します。また、次年度に発行する自治体経営白書で検討結果等を公表します。

（2）実施規模

平成 25 年度は試行期間として、STEP 0 及び STEP 1 を全事業（全予算事項）で実施します。

平成 26 年度以降は、STEP 0 を時点修正するとともに、STEP 1 を一定周期で行います。

(3) 実施スケジュール (予定)



4 2012 年市長表彰(ベストプラクティス表彰)及び平成 24 年度職員提案表彰の結果

(1) 市長表彰 (ベストプラクティス表彰)

①各課推薦事業(応募 25 課 29 事業)

	テーマ	受賞部課
優秀賞 ☆☆☆	三鷹市環境センターの維持管理と新ごみ処理施設の整備	ごみ対策課、ふじみ衛生組合
	三鷹市見守りネットワーク事業の協定の締結	地域福祉課
	新川・中原ルートの運行開始	道路交通課
優良賞 ☆☆	第 29 回全国都市緑化フェア TOKYO2012 の市民との協働による開催	緑と公園課、NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会
努力賞 ☆	認可保育園の定員拡充による待機児童解消の取り組み	子ども育成課
	三鷹市景観条例の制定	まちづくり推進課
	スポーツ祭東京 2013 の開催に向けた協働による取り組み	国体推進室、(株)まちづくり三鷹
パブリシティ部門賞 ☆	TAKA-1(みたかセレクトONE)～三鷹発地域ブランド構築	生活経済課、NPO法人みたか都市観光協会、(株)まちづくり三鷹

②平成 24 年度予算創造型節減事例(対象 13 課7事業)

経営改善 努力賞 ☆	市政情報の電子書籍化	企画経営課、秘書広報課、情報推進課、相談・情報課、図書館
	LGWAN-ASPを活用した財務会計システムの再構築	情報推進課
	電力供給の入札による経費の削減	契約管理課、学務課
	公共施設総点検運動による管理運営経費の見直し	コミュニティ文化課、公共施設課

③ISO14001 による環境改善事例(対象9課9事業)

環境 マネジメント 努力賞 ☆	ISO研修資料の工夫による省エネルギー・省資源活動への積極的な取り組み	職員課
	「施設をあげて節電の取り組み」の徹底実施	総合保健センター
	学校版環境マネジメントシステムの導入	総務課
	身近な省資源活動と紙の大幅な削減	秘書広報課
	職員、子ども、保護者と共に取り組む省エネ活動	中央保育園
	年間利用者 12 万人の協力による省エネ活動	社会教育会館

(2) 職員提案表彰

①政策提案部門（応募数 11 点 優良賞 2点 努力賞 2点）

	テーマ	
優良賞	夕暮れのファーマーズマーケット～保育園で「農家」と「親子」が繋がる～	
	『みたか芸術文化フェスティバル(仮称)』開催による文化の薫り高い三鷹の推進	
努力賞	三鷹市ブランドの確立に向けて「三鷹市CIガイドラインの制定」	
	本よ届け！親子のもとに！！(コンビニエンスストアを利用した図書取次サービス)	

②業務改善提案部門（応募数 4点 努力賞 1点）

	テーマ
努力賞	スマートな情報提供に向けた情報提供総点検運動の実施